

保護者等からの事業所評価の集計結果（2020年度） 【公表】

公表：2021年3月29日

事業所名：さわらび園

保護者等数（児童数）29(30) 回収数 26 割合 89.7%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	23	3	0	0	・外あそびの環境があればなお良いのでは。	・今年度はコロナ禍にあったため、戸外活動は情勢を鑑みながら行っていた期間もあります。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	21	3	0	2	・時差登園で、職員の方の配置が難しい中、きちんとやられてありがたいですが、もう少し人数いらっしやると安心かな…。	・国で定められた基準を満たした職員配置にはなっていますが、出張（研修）や病欠などの際は、フォローの体制を組んで行うようにしています。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	26	0	0	0		・子どもやクラスの状況を踏まえて、本人にわかりやすいような環境づくりを引き続き意識していきたいと思います。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	26	0	0	0	・特にこの一年はコロナ対策も含め、充分な対応をとっていただき、感謝している。 ・トイレなどがいつもキレイで快適である。	・例年以上に、衛生面には気を配り、屋内の掃除以外にも遊具等、子どもの触れるものは毎日消毒を行いました。今後も安心して通って頂けるよう、引き続き、環境整備をしていきます。
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	26	0	0	0		・保護者の思いを聞きながら、日々の療育場面での子どもの姿を保護者に具体的に(療育説明、日々の記録等)伝え、それを元に計画に反映していきます。
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	26	0	0	0		・児童発達支援計画の作成については、園内で会議を開き、個々の子どもの支援について確認した上で、計画を作成しています。支援内容については、保護者にもわかりやすいように、具体的に記載するように心がけています。
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	26	0	0	0		・今後も子ども個々の課題を職員で共有しながら、丁寧な支援を行っていくよう努めます。

適切な支援の提供	⑧	活動プログラムが固定化しないように工夫されているか	22	2	0	2	<ul style="list-style-type: none"> ・室内以外の活動をもう少し増やしてもいいのではないかと感じました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもやクラスの状態によって、プログラムの内容を工夫していくと共に、その目的や意図を療育説明等で伝えていくよう努めます。 ・戸外活動については、上でも触れたように、今年度はコロナの状態をみながら制限していた期間もありました。
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や障害のない子どもと活動する機会があるか	5	5	6	9	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度はコロナの影響で難しかったので。 ・今年度はコロナの影響もあり、こういう交流はしていない様に思います。 ・コロナのため、機会がもてなかったのかもしれない。 ・在園している園児が全員交流していない。一部の園児のみ交流保育がある。 ・今年度は交流保育が行われなくて残念でした。 ・全員が交流する機会はほとんどない。 ・コロナ渦のため、やむなし。 	<ul style="list-style-type: none"> ・交流保育は、例年は、療育での子ども個々の状態を確認しながら、受け入れ先の園とも相談をして、メンバーを決め、フィードバックは全園児保護者を対象にビデオでの説明を行っています。 ・今年度は、コロナ禍にあり、交流することによる、お互いの園のリスクも踏まえて、やむを得ず、中止としました。今後コロナの状態をみて、再開を予定しています。
保護者への説明等	⑩	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	24	1	0	0		<ul style="list-style-type: none"> ・さわらび園の通園にかかわることや費用等についての説明は入園面接の際に行っています。
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	26	0	0	0		<ul style="list-style-type: none"> ・児童発達支援ガイドラインについては、新年度の初めにグループカウンセリングの中で、保護者に伝える機会を持っています。また、計画書の確認については、各保護者に個別で確認をしていただく時間をとっています。
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか。 ※さわらび園では、グループカウンセリング	26	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・園児のみでなく、きょうだいたちの悩みも一緒に解決しようと日々相談に乗ってもらっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・さわらび園では、家族支援プログラムの一環として、母親グループカウンセリングを実施しています。また必要に応じて、随時、個別相談の機会も設けています。 ・父親については、例年は春には父親参観日、秋には父親研修会、また、懇親会等の機会を設けています。今年度は秋にグループごとの父親参観日を開催しました。
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができてきているか	26	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・朝、玄関先に先生がいることが多く、昨日・今朝起きたことなど、すぐに話しやすい環境にある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの状況や保護者の方からお聞きしたことを、職員間で共有するようにしています。

保護者への説明等	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	25	1	0	0	・いつもで話を聞いて頂け、助かっています。	・特に母子療育の時間には、子どもの姿を実際に観ながら助言したり、お母さんの話を聴くようにしています。また、⑫でも挙げたように、必要に応じて個別面談の時間を設けています。
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	20	2	0	4	・コロナの為、活動がなかったが、通常は色々あるので良いと思います。 ・まだ入園して数ヶ月なので、コロナのこともあり、わかりません。 ・今年度の活動については、支援があったものの、活動の制限も多く、保護者間での連携は難しく感じた。	・コロナの感染拡大状況や、緊急事態宣言の発出に伴い、親の会の運営や企画には、いろいろと制限をかけざるを得なくなり、保護者の皆さんには、ご不便をおかけしています。 次年度は、安全を確保しながら、どんな活動をしていけるのか、役員さん方とも意見交換しながら、運営支援をしていきたいと思っています。
保護者への説明等	⑯	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	26	0	0	0		・相談や申し入れがあった際には、確認をして、必ず対応するようにしています。
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達ための配慮がなされているか	26	0	0	0		・保護者には、朝や帰りの送迎時に連絡事項等を伝えるようにしています。今年度は、緊急事態宣言下の入室制限をしていた時は、玄関先にお知らせを掲示する等の工夫を行いました。
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	23	3	0	0	・伝達事項は、口頭のみではなく、細かく掲示されている。	・行事予定等は各クラスに掲示をしています。 ・毎月発行している法人の機関誌の配布やホームページの開設をしています。また、自己評価結果はホームページに公表しています。
	⑲	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	25	0	0	1		・個人情報を使用する際は事前に保護者に声をかけ、許可をいただくことを徹底しています。
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか、また、発生を想定した訓練が実施されているか	25	0	0	1		・防犯訓練については、職員間での確認および想定訓練を行っています。子どもも含めての防犯訓練については今後の検討課題としていきたいと思っています。
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	26	0	0	0		・月1回は必ず避難訓練を行っています。火災や地震等、の様々な想定をした訓練をしています。

満足度	⑳ 子どもは通所を楽しみにしているか	26	0	0	0	・子どもたちが安心して過ごせる場所になっていくよう、引き続きプログラムの工夫や丁寧なかかわりを意識していきたいと思います。
	㉑ 事業所の支援に満足しているか	26	0	0	0	・子どもへの支援はもちろんですが、保護者の方の思いもじっくりと聴きながら、共に子どものことを考えていきたいと思えます。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

事業所における自己評価結果（2020年度）【公表】

公表：2021年3月29日

事業所名：さわらび園

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	13	0	・人数により、パーティションで、部屋の広さを調節。空き部屋を活用。	・今年度はコロナの影響もあり母子療育日など登園する人数等によって普段よりも広く使えるよう、工夫した。 次年度も引き続き、同様の工夫はしていきたい。
	②	職員の配置数は適切である	10	3	・長期で休んでいる職員の補充があると、さらに子どもに配慮した支援ができるように思う。	・配置基準は満たしているが、職員の出張（研修）や病欠が重なったときには、職員体制が厳しい状況はある。 パート職員での増員はしているが、さらなる人員の加配については、市への予算要望も含めて検討していきたい。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	13	0		
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	13	0	・登園前後に部屋の清掃を行っている。また、遊具やイス等、その日使ったものを消毒でふき取りを行っている。	
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	10	3	・療育計画や月案を通して療育目標を立てて行っている。振り返りについては会議等で随時行い、次の行動目標を立て、実践できるように努めている。	・実践していることや、個々の職員への意識づけについては、引き続きの課題としていく。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施すると共に、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	13	0	・自己評価及び保護者からの事業所評価を実施している。結果については、職員間で周知し、改善に向けての話し合いの機会をもっている。公表については、園内で印刷物を閲覧できるようにし、ホームページでの公開を行っている。	
	⑦	事業所向け評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	13	0		

業務改善	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	10	3	・現時点では、第三者評価は行っていない。	・昨年度に、厚労省の研究事業の外部評価のトライアルに協力をし、結果を受け取った。第三者による外部評価は、今後の検討課題としている。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	12	1	・今年度はコロナの影響もあり、十分にできていないように感じた。 ・事業所内での研修や、療育現場でのOJTを実施。	・子どもの療育についてや制度の学習等、資質向上に向けて、今後もいろんな研修を企画していきたい。
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	13	0	・子どもの観察と保護者の思いを踏まえて、計画に反映させている。	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	12	1	・年1回、園内で新版K式発達検査を実施している。その結果は後日保護者にフィードバックしている。	・発達検査での子どもの発達状況を個別支援会議などの際に、意識的に職員で共有するように努める。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「家族支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	13	0	・児童発達支援計画の策定のために、個別支援会議を開き、検討をする機会をつくっている。	
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	13	0	・クラス会議などを通じて、支援経過の確認を行っている。	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	7	6	・立案を共有したり、話し合う機会が少なく感じたので、改めたい。 ・現状は担当が主体で立案。	・各グループの担当が主となり、活動プログラムを立てているが、それを職員間で共有する工夫をしていく。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	12	1	・子どもの状況により、あえて固定的に行う時もあるが、柔軟なプログラムを行っていることもある。	・今後も、子どもやクラスの状況によって、柔軟に内容を工夫していく。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	13	0		・子ども個々の発達状況を細かく把握するために、活動内容のさらなる工夫が必要である。

適切な支援の提供	⑰	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	11	2	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の忙しさを感じる事が多く「必ず」といった打ち合わせまでできなかったため、足りなかった様に感じた。 ・行事の前などは、内容や役割分担については、全体で確認しているが、日々の療育は、各グループごとで行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・不足していると感じている部分には、次年度への課題として改めたい。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有している	8	5	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日の振り返りは出来なかったため、その状況から共有とまでは出来なかった。 ・必ずとは言えない現状があると思われるので、意識していき 	<ul style="list-style-type: none"> ・OJT実施日は当日の会議で振り返りを行った。日々の支援後には、各支援スタッフごとでの共有となっているが、必要に応じて会議の設定等を行っていき
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	12	1	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の記録を元に、モニタリングを行い、次の計画に反映させている。 	
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	13	0	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的に半年ごとにモニタリングを行っている。 	
関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	13	0	<ul style="list-style-type: none"> ・園内での個別支援会議に相支援専門員の参加をお願いしている。 	
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	13	0	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて、保健センター等の関係機関と連携をとっている。 	
	㉓	※医療ケア児				
	㉔	※医療ケア児				
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	13	0	<ul style="list-style-type: none"> ・移行にあたって、保護者に同意を得た上で、児童の記録を移行先に提出している。 ・移行後はアフターケアとして移行先を訪問し、子どもの状況を確認するようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度はコロナの影響もあり、アフターケアとしての訪問を、電話連絡に代替して行った。次年度も情勢を観て判断は必要。
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	13	0	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の同意を得た上で、児童記録の提出による情報共有や、就学後は訪問によるアフターケアを行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・同上。
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	13	0	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に、また必要に応じて、療育センターと情報共有の機会をもつなど、連携をはかっている。 	
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	8	4	<ul style="list-style-type: none"> ・例年は近隣の保育園との交流を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度はコロナの影響で実施しなかった。情勢をみながら、再開したい。

関係機関 や保護者 との連携	②9	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	13	0	・担当職員が参加している。	・協議会に参加していない職員にも、活動内容の周知を図っていく。
	③0	日頃から子どもの状況を保育者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	13	0	・日々の振り返りや記録での確認をし、会議時には子どもの課題や支援について話し合う機会を持っている。	
	③1	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	13	0	・週に1回、母親グループカウンセリングを行っている。	・例年は、月1回、外部講師を招いての研修会を行っているが、今年度はコロナの影響で開催しなかった。情勢をみながら再開したい。
保護者への 説明責任等	③2	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	13	0	・契約時の両親面接で行っている。	
	③3	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	13	0	・計画作成時とモニタリング時に、個別での説明を行い、同意を得ている。	
	③4	定期的に保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	13	0	・グループカウンセリングと個別相談の中で対応している。	
	③5	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	13	0	・保護者会総会への出席と、保護者会役員からの相談にのるなどの支援を行っている。	・今年度はコロナの影響で、保護者が集まって活動する機会は制限することがほとんどだった。人数や時間、空間等を工夫した保護者会活動は支援していきたい。
	③6	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	13	0	・保護者からの相談等があった場合は、速やかに対応することを心がけている。クラスの担任に申し出があった場合には主任を通して個別相談等につないでいる。	
	③7	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	13	0	・行事予定等はクラスへの掲示や、配布物等での対応をとっている。	
	③8	個人情報の取り扱いに十分注意している	13	0	・職員への周知徹底を図っている。	

保護者への説明責任等	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	13	0	・保護者の状況に応じて、個別で説明をするなどの配慮をしている。	
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を行っている	13	0	・例年は、盆踊りやバザーなど、地域啓発を意図した催しを企画したり、町内会への部屋貸しを行っている。	・今年度は、地域で集まる行事は中止となったが、今後、再開したい。
非常時の対応	④⑪	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	10	3	・防犯訓練を年1回、行っている。	・一部整えられていないマニュアルもあるため、今後整備をしていく必要がある。
	④⑫	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	13	0	・月1回、避難訓練を行っている。	
	④⑬	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	13	0	・保護者からの聞き取りを行い、記録に残している。 ・必要に応じて、薬を預かって対応している。	
	④⑭	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	13	0	・該当の児童については、保護者にアレルギー対応表を提出してもらい、それに基づいて食事提供をしている。	・食事提供時に、厨房職員と連携し、対応食の有無についても確認した上で本人に提供を行っているが、今後更に丁寧な確認は必要。
	④⑮	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	12	1	・その都度、報告書を作成し、閲覧可能な状況にしている。内容によっては、振り返りの時間を持つようにしている。	
	④⑯	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	12	1	・虐待防止や権利擁護等、様々な研修の機会を法人でもっている。	・職員には、子どもへの支援や対応について権利擁護の視点を意識して話し合う機会をつくっていく。
	④⑰	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得たうえで、児童発達支援計画に記載している	10	3	・身体拘束の記録については、様式を整備し、職員への周知を図っている。	・保護者には、契約時に話をするようにしている。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は事業所全体で行った自己評価です。